

## 江戸バス実態調査 【説明資料】

## 目次

<b>1. 江戸バス実態調査結果</b> .....	<b>1</b>
1.1 累積データの分析.....	2
1.2 乗降バス停別カウント調査 .....	3
1.3 乗客アンケート調査.....	4
1.4 区政世論調査 .....	9
<b>2. 江戸バスに関連する動向</b> .....	<b>10</b>

## 1. 江戸バス実態調査結果

- ・江戸バスの運行実態調査では、以下の調査を行った。
  - ✓ 累積データの分析（資料集 1.）
  - ✓ 乗降バス停別カウント調査（資料集 2.）
  - ✓ 乗客アンケート調査（資料集 3.）
  - ✓ 区政世論調査（資料集 4.）
- ・本報告書では、そのうち主要な項目と各項目に関する分析を抜粋して示す。

## 1.1 累積データの分析

- ・運行開始からの利用状況の傾向分析のため、日立自動車交通(株)が収集する料金收受実績から逆算した利用客数データと区からの運行補助額について累積データを分析した。
- ・年度ごとの1日平均利用客数を比較すると、平成22年度から平成30年度まで年々増加を続けていたが、新型コロナウイルス感染症の影響等により、令和2年度には前年度比の68%にまで落ち込んでいる。
- ・北循環・南循環別に比較すると、いずれの年度においても北循環に比べて南循環の方が利用客数が多い。
- ・年度ごとの平日・土日祝日別の1日平均利用客数を比較すると、いずれの年度も土日祝日は平日の約6割の利用に留まっている。系統別に見ても、傾向は同様である。
- ・収入は利用客数の推移に応じて増加傾向にあったが、令和2年度に急減している。一方支出は1億5,000万円前後で推移しており、令和元年度からは補助金額が1億円を超えている状況である。

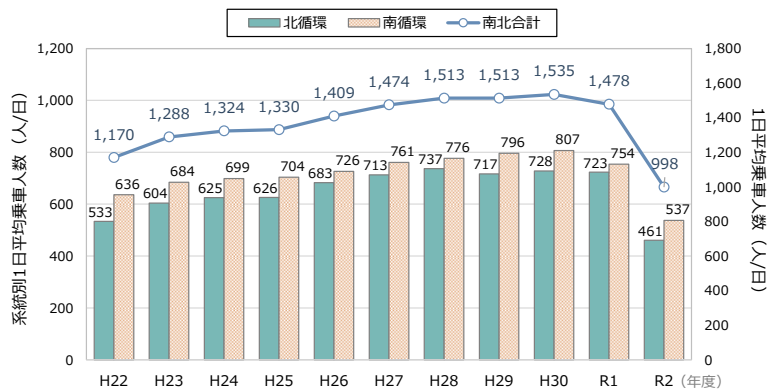


図 1-1 北循環・南循環別の利用客数の状況

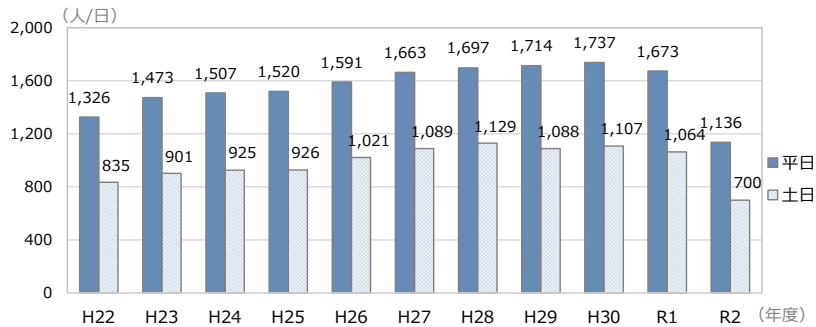


図 1-2 平日・土日祝日別の利用客数の状況

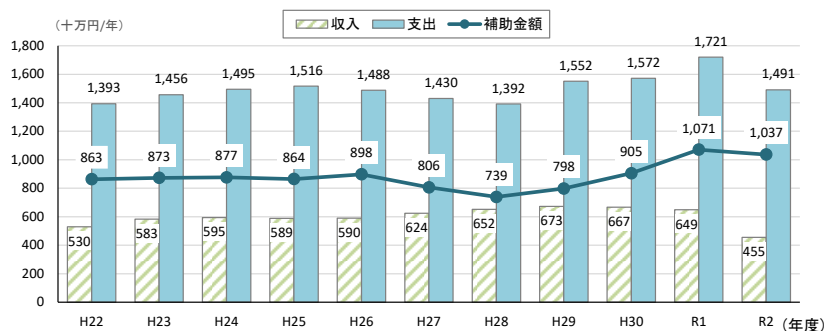


図 1-3 収支と補助金額の推移

## 1.2 乗降バス停別カウント調査

- ・利用者ニーズの把握のため、令和3年9月26日(日)、29日(水)、10月1日(金)の3日間について、停留所別の乗降状況の調査を行った。
- ・北循環は、平日・休日ともに「中央区役所」「東京駅八重洲北口」での乗降客数、「新富二丁目」での乗客数が多くなっている。また中央区役所に近い「桜橋」「新富区民館」での乗車、「新富二丁目」「箱崎湊橋通り」での降車は平日・休日ともに少なくなっている。
- ・南循環は、平日・休日ともに「中央区役所」「聖路加国際病院」「シニアセンター」での乗降客数、「新島橋南」での乗客数、「月島スポーツプラザ」での降客数が多くなっている。休日の銀座ルート「三原橋」以外の停留所では降車がほとんど確認されなかった。

表 1-1 北循環 平日休日別、乗降別 利用客数ランキング (人/日)

上位5位			NO. 停留所名			平日平均乗車			NO. 停留所名			平日平均降車			NO. 停留所名			休日乗車			NO. 停留所名			休日降車														
1	中央区役所(発)	116	6	東京駅八重洲北口	102	1	中央区役所(発)	76	6	東京駅八重洲北口	73	1	中央区役所(着)	50	1	中央区役所(着)	50	28	新川二丁目	19	8	本石町一丁目	18	20	中洲	18												
2	新富二丁目	83	1	中央区役所(着)	96	2	新富二丁目	63	1	中央区役所(着)	50	2	新富二丁目	5	26	箱崎湊橋通り	0	30	新富区民館	0	27	新川一丁目	1	3	八丁堀駅	2	22	新島橋南	1									
6	東京駅八重洲北口	42	18	浜町三丁目	28	6	東京駅八重洲北口	42	9	本石町三丁目	2	27	新川一丁目	1	9	本石町三丁目	2	3	八丁堀駅	2	22	新島橋南	1	11	室町二丁目	33	12	日本橋保健センター	2	13	堀留町一丁目	2	22	新島橋南	1			
3	八丁堀駅	39	5	八重洲通り西	27	11	室町二丁目	33	12	日本橋保健センター	2	3	八丁堀駅	2	11	室町二丁目	7	13	堀留町一丁目	2	11	室町二丁目	7	4	八重洲通り西	5	27	新川一丁目	7	4	八重洲通り西	5	27	新川一丁目	7	5	八重洲通り西	5
11	室町二丁目	34	15	馬喰横山駅	27	15	馬喰横山駅	27	4	八重洲通り東	2	5	八重洲通り西	5	17	浜町駅	27	4	八重洲通り西	5	17	浜町駅	27	5	八重洲通り西	5	17	浜町駅	27	5	八重洲通り西	5						

表 1-2 南循環 平日休日別、乗降別 利用客数ランキング (人/日)

上位5位			NO. 停留所名			平日平均乗車			NO. 停留所名			平日平均降車			NO. 停留所名			休日乗車			NO. 停留所名			休日降車											
1	中央区役所(発)	126	5	聖路加国際病院	105	23	新島橋南	42	1	中央区役所(着)	63	1	中央区役所(着)	63	10	シニアセンター	28	1	中央区役所(着)	63	10	シニアセンター	28	12	月島スポーツプラザ	28	1	中央区役所(着)	63	10	シニアセンター	28	12	月島スポーツプラザ	28
5	聖路加国際病院	83	1	中央区役所(着)	80	1	中央区役所(発)	39	10	シニアセンター	28	10	シニアセンター	28	12	月島スポーツプラザ	28	10	シニアセンター	28	22	勝どき五丁目	24	10	シニアセンター	28	22	勝どき五丁目	24	5	聖路加国際病院	24			
23	新島橋南	81	10	シニアセンター	76	25	勝どき駅前	34	25	勝どき駅前	34	25	勝どき駅前	34	25	勝どき駅前	34	25	勝どき駅前	34	25	勝どき駅前	34	25	勝どき駅前	34	25	勝どき駅前	34	25	勝どき駅前	34			
25	勝どき駅前	64	12	月島スポーツプラザ	47	10	シニアセンター	30	10	シニアセンター	28	10	シニアセンター	28	10	シニアセンター	28	10	シニアセンター	28	10	シニアセンター	28	10	シニアセンター	28	10	シニアセンター	28	10	シニアセンター	28			
22	勝どき五丁目	51	19	新島橋	43	9	マイホーム新川	25	9	マイホーム新川	25	9	マイホーム新川	25	9	マイホーム新川	25	9	マイホーム新川	25	9	マイホーム新川	25	9	マイホーム新川	25	9	マイホーム新川	25	9	マイホーム新川	25			

### 1.3 乗客アンケート調査

- ・運行車内でアンケート票を配布することにより、利用者属性、利用目的、運行に対する評価・要望などの意向を調査した。
- ・令和3年9月26日(日)、29日(水)、10月1日(金)の3日間で計2,639票のアンケートを配布し、そのうち959票(約36%)から回答を得られた。
- ・改善点・不満点・今後の運行等に対する自由意見では、逆ルートの運行やバス停位置の変更などの「運行ルート」に関する要望や、終発の繰り下げなどの「運行時間」に関する要望が多かった。

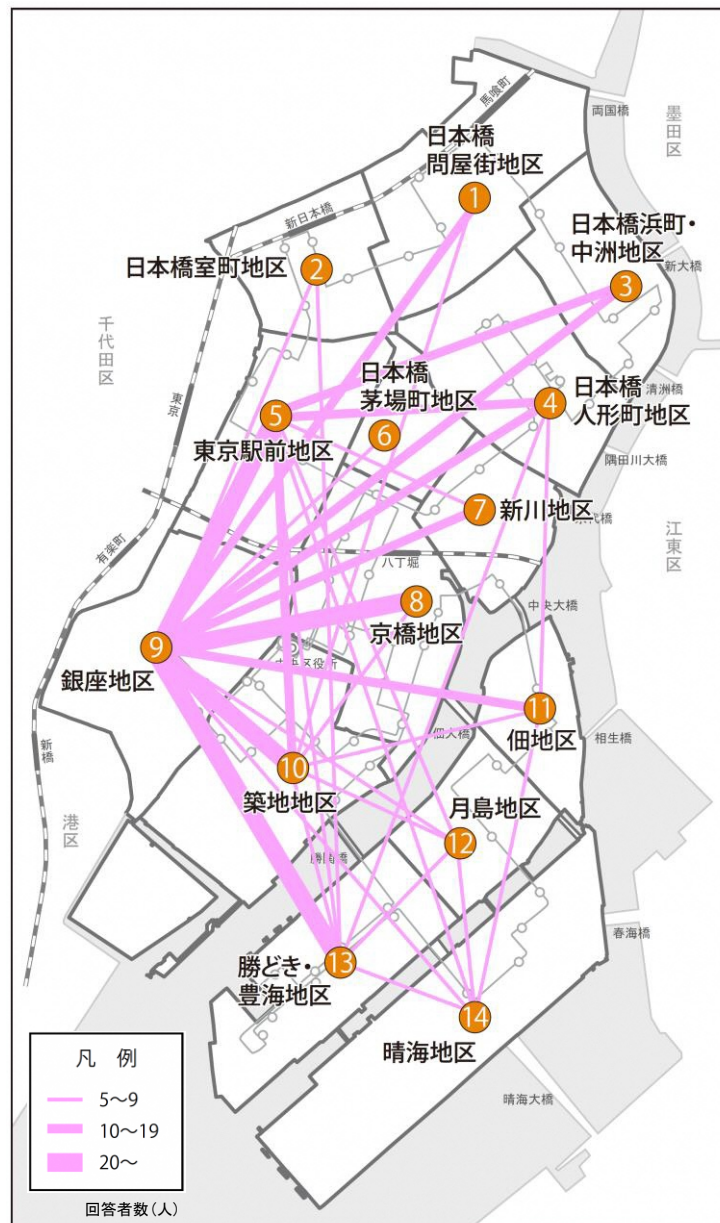
表 1-3 不満・改善したい点に対する自由意見（回答数 20 以上の意見）

意見数	意見数	%
運行ルートについて	244	41%
逆ルート	142	24%
バス停の位置	36	6%
運行時間について	82	14%
終発を遅くしてほしい	43	7%
始発を早くしてほしい	26	4%
運行間隔について	70	12%
バス停環境(時刻表・案内板の見易さ)	34	6%
ダイヤ設定について	29	5%
車両環境(乗り心地・車両デザイン等)	27	5%
南循環と北循環の乗り継ぎについて	26	4%

表 1-4 今後の運行要望に対する自由意見（回答数 10 以上の意見）

意見数	意見数	%
運行ルートについて	187	44%
逆ルート	119	28%
銀座方面への運行	14	3%
車両乗務員について	34	8%
運行間隔について	32	8%
車両環境(乗り心地・車両デザイン等)	25	6%
運賃(均一 100 円)	14	3%
ダイヤ設定について	13	3%
バスロケーションシステムについて	12	3%
運行時間について	11	3%

- ・江戸バスを運行してほしい区間については、「東京駅前地区→銀座地区」、「勝どき・豊海地区→銀座地区」の要望が多く、「銀座地区」での降車の要望はどの地区からも比較的多い。



※乗降の合計で5人以上が回答している区間のみ表示

図 1-4 運行してほしい区間

- ・新型コロナウイルス感染拡大による利用の変化については、66%が「流行前と変わらない」、25%が「流行前より減った」と回答した。
- ・「流行前より減った」理由について、約7割は「外出自体が減った」と答え、移動手段を徒歩や自転車に変えたという人は約3割となった。
- ・感染拡大の終息後の利用頻度について「今と変わらないと思う」と答えた人は約7割、「今より増えると思う」と答えた人は約3割となった。

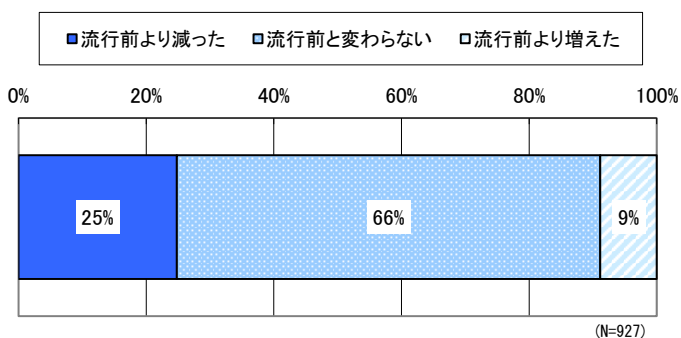


図 1-5 利用の変化

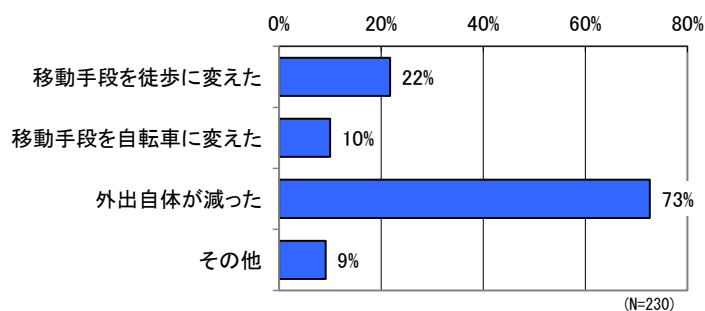


図 1-6 利用が減ったと回答した方の理由

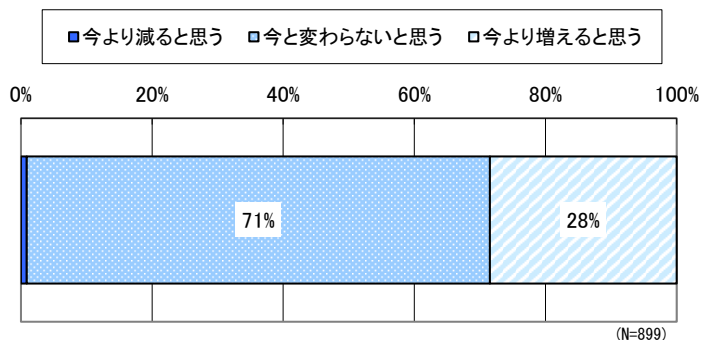


図 1-7 終息後の利用意向

- ・運行仕様に対する満足度の調査では、乗り継ぎ時間以外の項目で半数以上から「満足」「やや満足」という回答が得られた。
- ・運行仕様に対する重要度の調査では、各項目の重要度について1～3点で点数をつけてもらったところ、「運行間隔」「定時性」「運行ルート」「運賃」の重要度が高いという結果が得られた。
- ・江戸バスの基本方針の達成度については「公共施設へのアクセス向上」「地域の足としての定着」「まちの活性化に貢献」の3項目で約7～8割から「(達成されたと)思う」「やや思う」という回答が得られた。一方、「他の公共交通機関との乗り継ぎ向上」、「外出機会の向上」で「思う」「やや思う」と答えた人は半数以下となった。

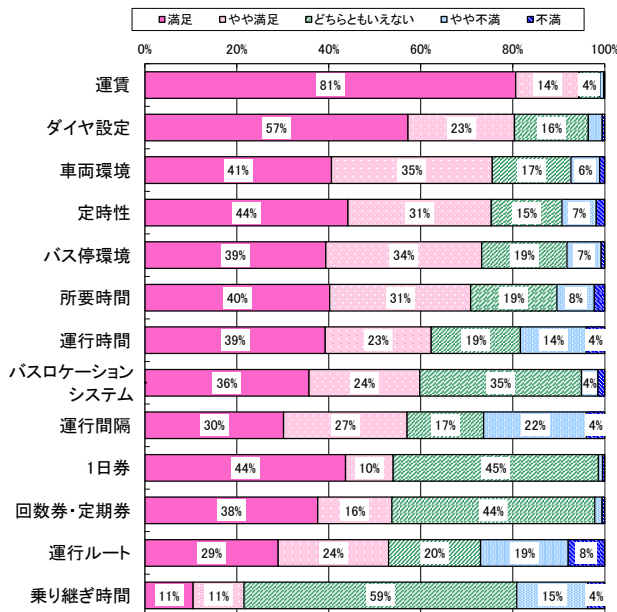


図 1-8 運行仕様に対する満足度 (N=888~938)

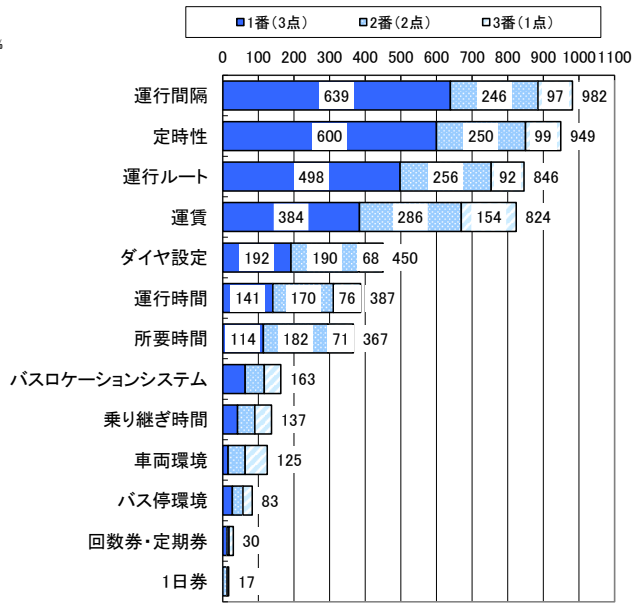


図 1-9 運行仕様に対する重要度 (N=809~888)

運賃：均一 100 円	ダイヤ設定：どの時間でも発車時刻の末尾が同じ
車両環境：乗り心地・車両デザイン等	定時性：ダイヤに正確な運行
バス停環境：時刻表・案内板の見やすさ等	所要時間：目的地までの乗車時間
運行時間：始発・終発の時間	バスロケーションシステム：システムの使い心地
運行間隔：20 分間隔	1日券：1日券の値段
運行ルート：ルート・バス停の位置	回数券・定期券：回数券・定期券の値段
	乗継時間：南循環⇄北循環の乗り継ぎにかかる時間

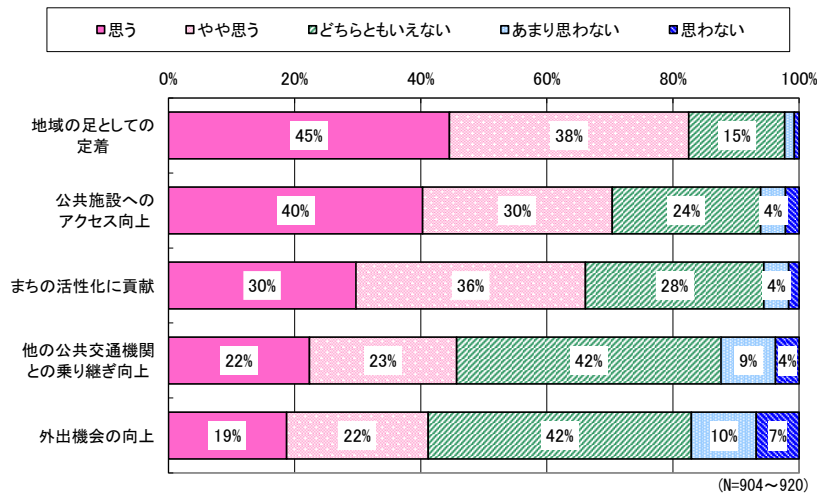


図 1-10 江戸バス導入時の基本方針の達成度 (N=904~920)



- ・現在江戸バスを利用する人のニーズを把握するため、p7に掲載した運行仕様に対する満足度及び重要度に関する乗客アンケートの結果を以下の算出基準に基づいて評価し、四象限の図に整理した。
- ・「運賃」「ダイヤ設定」「定時性」は重要度が高く、かつ満足度も高い項目となっている。
- ・「運行ルート」「運行間隔」は重要度が高く、かつ満足度の低い項目となっている。

※アンケート結果の評価方法

【1】満足度（縦軸）

◎頂いたアンケート結果について、「満足=10点」「やや満足=5点」「どちらともいえない=0点」「やや不満=-5点」「不満=-10点」に換算し、項目ごとの平均得点を算出

【2】重要度（横軸）

◎頂いたアンケート結果について、「1番=3点」「2番=2点」「3番=1点」に換算し、項目ごとの合計得点を算出

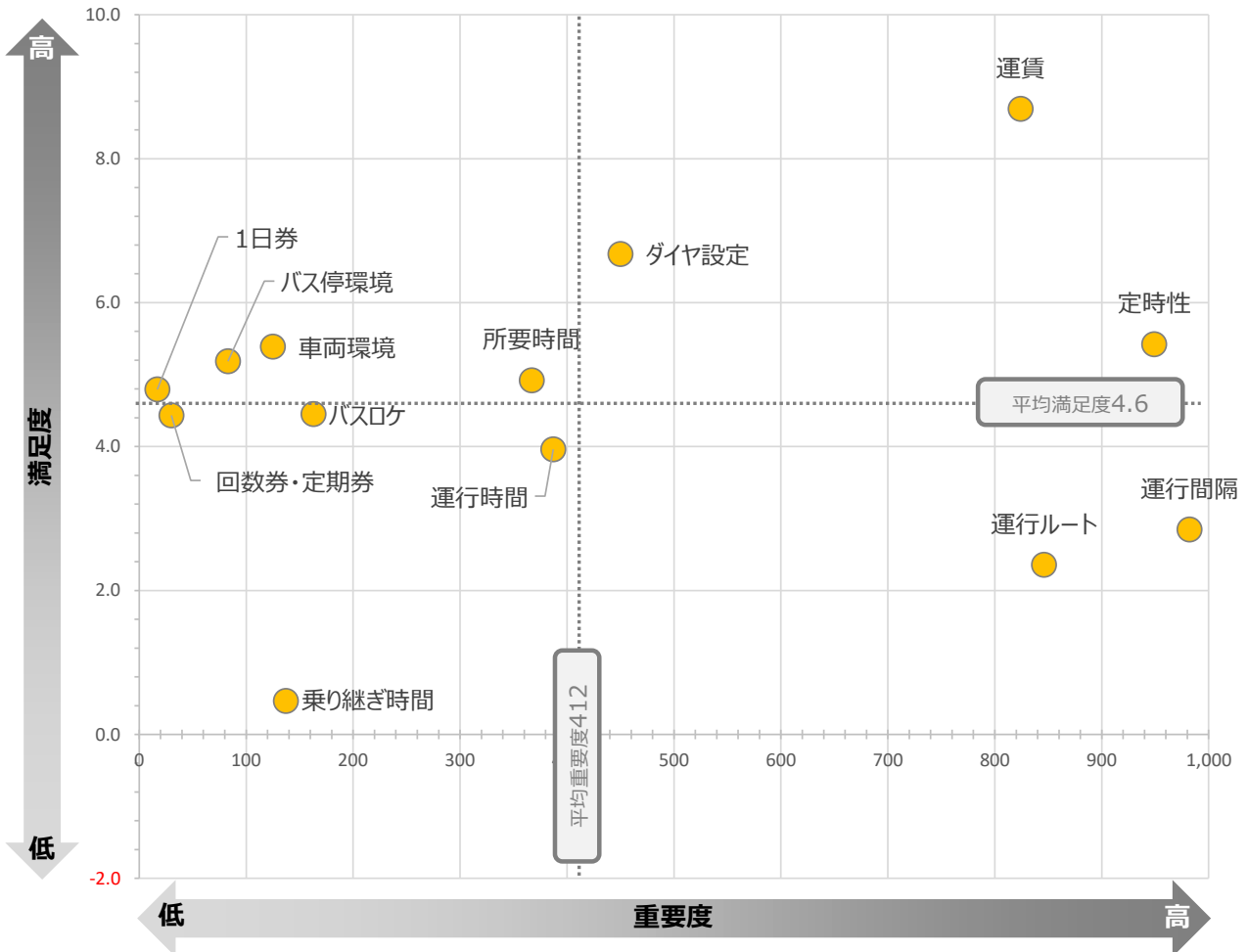


図 1-11 重要度と満足度の関係

## 1.4 区政世論調査

- ・江戸バスを利用していない人からも広く意見を伺うため、令和3年4月27日から6月7日までの期間中に中央区に居住する満18歳以上の2,000人（外国籍の方を除く）を対象に、無作為抽出（郵送）による区政世論調査を行った。
- ・江戸バスの利用経験があると答えた人は平成25年度調査と比較して増加した。
- ・江戸バスを知っているが利用頻度は高くないと回答した人のうち、約3割が「逆方向便の運行」または「運行本数の増便」があれば利用すると答えた。
- ・区が江戸バスを運行する上で最も優先すべき項目として、約3割が「逆方向便の運行」、約2割が「運行本数の増便」と答えた。
- ・「運行内容がどのようになれば江戸バスを利用するか」「江戸バスを運行する上で最も優先すべき項目」として「運行ルートの変更」を挙げた人は平成25年度と比べて減少しているが、「逆方向便の運行」への回答は依然として多くなっている。

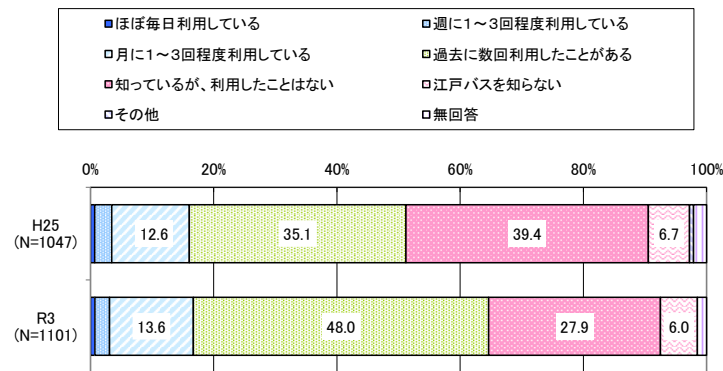


図 1-12 「江戸バス」の利用経験

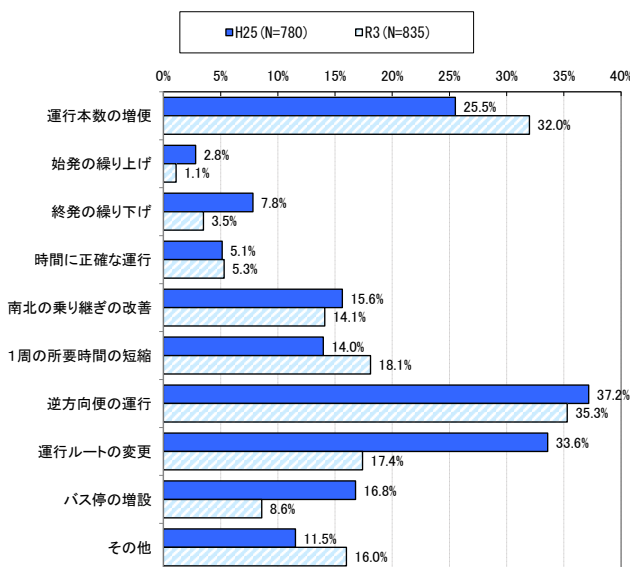


図 1-13 「江戸バス」の利用条件

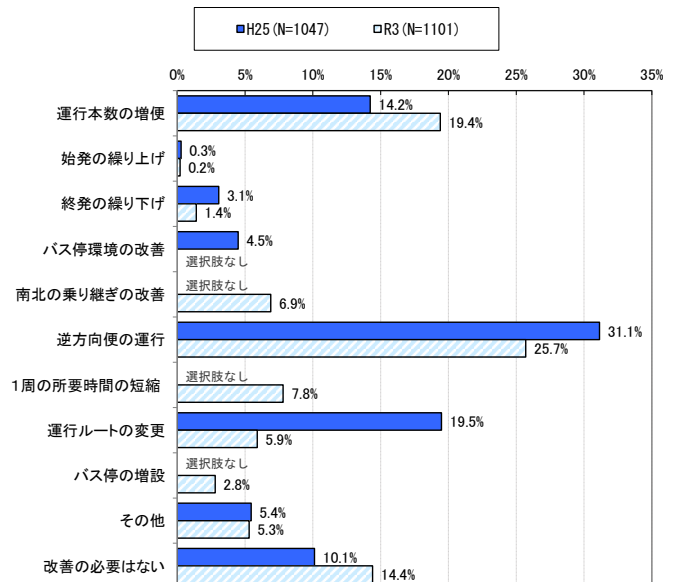


図 1-14 「江戸バス」への改善要望

## 2. 江戸バスに関連する動向

- ・ 鉄道の駅勢圏外 300m と都営バス(片道 51 本/日以上)のバス停 200m の圏域外を公共交通不便地域とした場合、晴海、湊、明石町及び日本橋地域の一部などが公共交通不便地域となっている。
- ・ 公共交通不便地域のうち、湊、明石町、日本橋地域の一部においては江戸バスが運行されているが、晴海選手村跡地の再開発で整備される晴海フラッグのエリアにおいては江戸バスの運行がない。

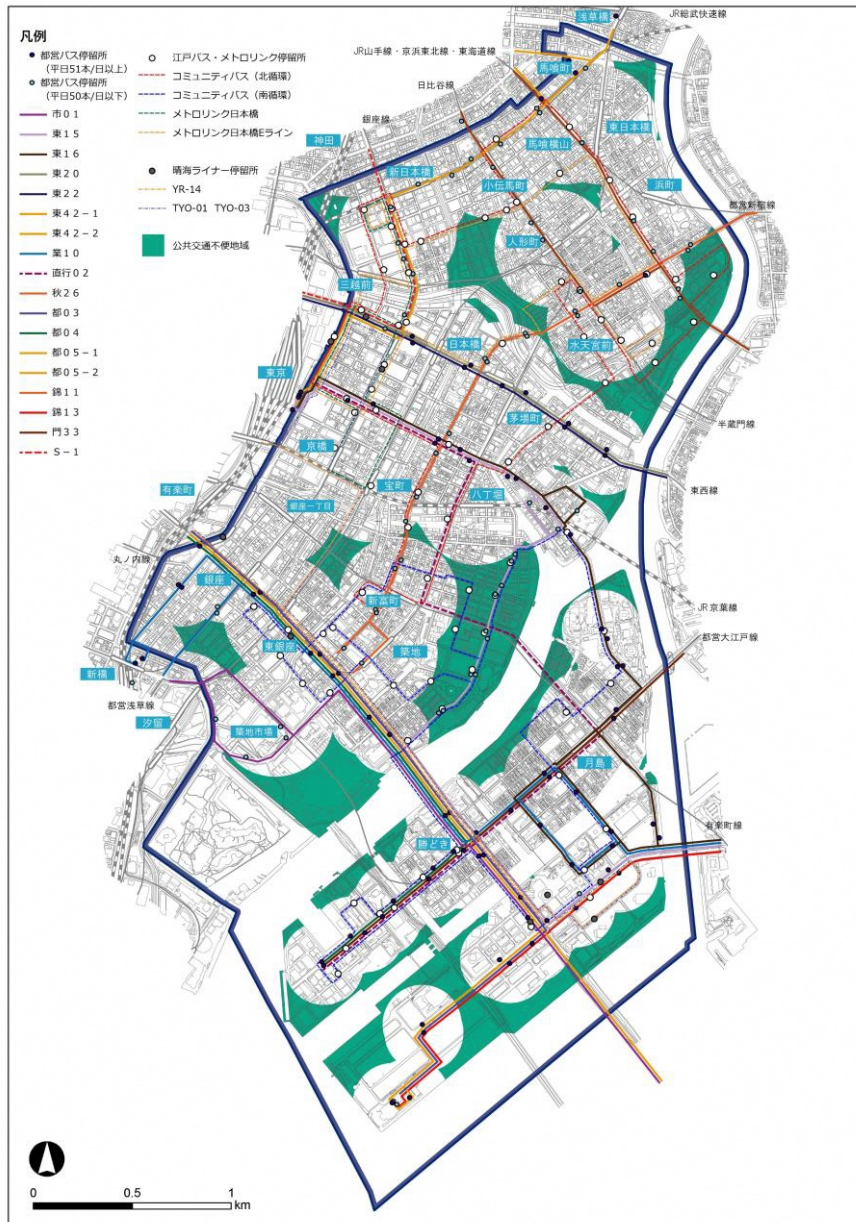


図 2-1 公共交通不便地域の図

資料： 鉄道) 国土数値情報 鉄道データ (国土交通省、令和 2 (2020) 年 12 月) を基に作成  
 都営バス) 都バス路線案内 みんなのガイド (東京都交通局) 令和 4 (2022) 年 2 月時点) を基に作成  
 江戸バス) 江戸バスマップ (桜だより編) (中央区) (令和 3 (2021) 年 1 月時点) を基に作成  
 メトロリンク) HINOMARU LIMOUSINE 無料巡回バス メトロリンク日本橋 運行ルート (日の丸リムジングループ) (令和 4 (2022) 年 2 月時点)、メトロリンク日本橋Eライン 運行ルート (日の丸リムジングループ) (令和 4 (2022) 年 2 月時点) を基に作成  
 晴海ライナー) 晴海ライナーリアルタイム位置情報 (日立自動車交通株式会社) (令和 4 (2022) 年 2 月時点) を基に作成

- ・東京 2020 大会の選手村として利用された晴海地区では、高層住宅の整備により約 1.2 万人の転入者を見込んでいる。
- ・これにあわせて、特別出張所、図書館、認定こども園を備えた複合施設や小中学校の開設が予定されている。
- ・晴海五丁目では、晴海のまちびらきに合わせて増大が見込まれている公共交通需要に対応するため、BRT や路線バス、コミュニティサイクルなどを導入した複合的なターミナル機能を持つ交通広場の整備が予定されている。



図 2-2 晴海五丁目西地区（選手村）の大会後の交通施設

出典) 東京都 HP